

1. 検討背景及び目的

- ・現在、「高蔵寺リ・ニュータウン計画」策定時から3年が経過し、プロジェクト及び施策の取組み等に一定の進捗している状況。
- ・加えて、「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」が公表される等、様々な動きがあるものの、高蔵寺ニュータウンの人口は減少している。
- ・この状況を踏まえ、高蔵寺ニュータウンの住宅及び人口フレームを調査検討する。

人口、世帯の推移

戸建て等空き家の動向

リ・ニュータウン計画
主要プロジェクトの取組

UR賃貸住宅
・UR賃貸住宅ストック活用・
再生ビジョン
・高森台団地 集約型団地
再生事業

住宅・人口
フレーム検討

○人口・世帯の推移(リ・ニュータウン計画策定時)

項目	H27	H28	H29	H30	H31
人口	↓ 45,217	↓ 44,624	↓ 43,932	↓ 43,182	↓ 42,682
子育て世帯の割合	↓ 19.7	→ 19.7	↓ 19.0	↓ 18.4	↓ 17.9

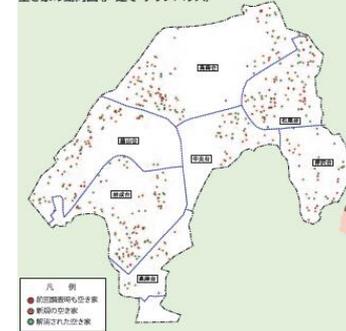
○UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン

⇒UR賃貸住宅ストックを将来にわたって国民共有の貴重な地域資源として活かし続けるため、2033年度までのUR賃貸住宅ストックの多様な活用の方向性を定めたもの(平成30年12月公表)

ストック活用:リパビア中央台、白山台
ストック再生:藤山台、岩成台、高森台
岩成台西、中央台、高座台

○戸建て等空き家状況

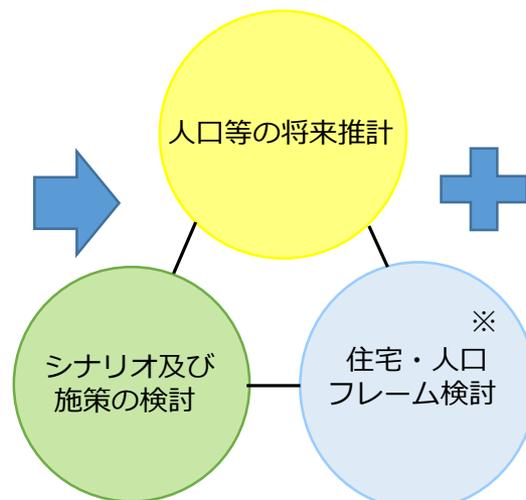
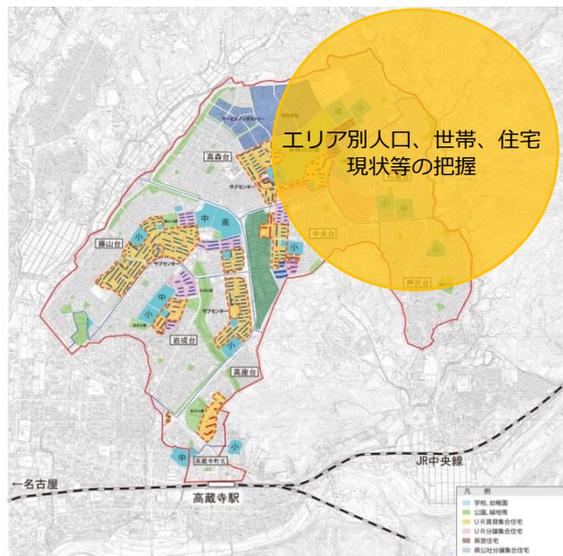
空き家の動向図(戸建て・タウンハウス)



・現在の空き家流通に向けたDIYの取組



2. 検討イメージ



※ 住宅・人口のボリューム、配置の検討

高蔵寺リ・ニュータウン計画

- ・民間活力を導入したJR高蔵寺駅周辺の再整備
- ・旧西藤山台小学校施設への生活利便施設の誘致による整備
- ・交通拠点をつなぐ快適移動ネットワークの構築
- ・センター地区の商業空間の魅力向上と公共サービスの充実
- ・スマートウェルネスを目指した団地再生の推進

3. 検討体制

